

「おめでとう、恵まれた方。
主があなたと
共におられる。」

(ルカ福音書1章28節)

10月は、ロザリオの月です。

ロザリオの祈りは、珠を繰りながら、主の祈りとアヴェ・マリアの祈り(天使祝詞)を唱えていく祈りです。ロザリオの祈りについては、昨年のセンター便りでご紹介したので、今回は、アヴェ・マリアの祈り(天使祝詞)をご紹介したいと思います。

アヴェ・マリアとは、下記に示したラテン語の祈りの冒頭句で、「おめでとう、マリア」、または「こんにちは、マリア」などと訳されます。

祈りの内容の前半は、天使ガブリエルがマリアへ受胎告知する呼びかけのことば「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」(ルカ福音書1章28節)であり、その後マリアを迎えたエリサベトが喜びに満ちて発したことば「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。」(ルカ福音書1章42節)が続きます。

そしてマリアへのとりなしを願う祈りが最後に加わります。

この最後のマリアへのとりなしの祈願は、15世紀以降付けられたと謂われ、一五六八年教皇ピウス5世の聖務日課書改訂で最終的に決定されました。

現在の日本語訳は、二〇一一年六月一四日、日本カトリック司教協議会が「アヴェ・マリアの祈り」として決定しました。

天使ガブリエルの告知「主はあなたと共におられます。」は、本学のモットーとして校舎入口東側にラテン語で掲げられています。

(M・S)

アヴェ・マリアの祈り(天使祝詞)



フラ・アンジェリコ 受胎告知 1440年代
フィレンツェ サン・マルコ美術館

アヴェ・マリアの祈り

アヴェ、マリア、恵みに満ちた方、
主はあなたとともにおられます。
あなたは女のうちに祝福され、
ご胎内の御子イエスも祝福されています。
神の母聖マリア、
わたしたち罪びとのために、
今も、死を迎える時も、お祈りください。
アーメン。

Ave Maria

Ave Maria, gratia plena,
Dominus tecum,
benedicta tu in mulieribus,
et benedictus fructus
ventris tui Jesus.
Sancta Maria mater Dei,
ora pro nobis peccatoribus,
nunc, et in hora mortis
nostrae.
Amen.

すべてのことを
どんな平凡なありふれたことでも、
神のみ前で神のためにしよう

―聖ラファエラ・マリア―